

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月30日(2020.4.30)

【公開番号】特開2019-115706(P2019-115706A)

【公開日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報2019-028

【出願番号】特願2019-48895(P2019-48895)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月13日(2020.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

表示手段と、

前記表示手段にて種々の演出を実行可能な演出制御手段とを備え、

前記演出制御手段は、

特定演出と、

前記特定演出の実行前に所定時間の計時に関する表示を開始する計時演出とを実行可能とし、

前記特定演出は、所定演出の実行後に成功演出と失敗演出の何れかの結果演出が出現し

、前記計時演出による計時終了前に前記所定演出を開始し、前記計時演出による計時終了後に前記結果演出を実行し、

前記所定時間の計時に応じて、当該計時に関する表示態様を変化可能に構成し、

前記計時演出を行った場合の前記特定演出の方が、前記計時演出を行わなかった場合の前記特定演出よりも前記成功演出が出現する可能性が高い

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、表示手段60と、前記表示手段60にて種々の演出を実行可能な演出制御手段138とを備え、前記演出制御手段138は、特定演出と、前記特定演出の実行前に所定時間の計時に関する表示を開始する計時演出とを実行可能とし、前記特定演出は、所定演出の実行後に成功演出と失敗演出の何れかの結果演出が出現し、前記計時演出による計時終了前に前記所定演出を開始し、前記計時演出による計時終了後に前記結果演出を実行し、前記所定時間の計時に応じて、当該計時に関する表示態様を変化可能に構成し、前記計時演出を行った場合の前記特定演出の方が、前記計時演出を行わなかった場合の前記特定演出よりも前記成功演出が出現する可能性が高いものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 9 0】

図66と図67は、何れもタイマ演出に対応して予告c1を実行する場合の液晶表示手段60の画像表示の一例を示したものであるが、図66では予告c1の煽り部分（図66（c））を開始すると同時又はそれよりも前（図66のT1）にタイマ値が0となって計時を終了しているのに対し、図67では計時終了よりも前（図67のT1）に予告c1の煽り部分の実行を開始し（図67（b））、その煽り部分の実行中（図67（c））にタイマ値が0となって（図67のT2）計時を終了している。